



左官職人が挑んだ和のアート「饅絵」

現在（いま）まちに多くのアーティストが集まっています。令和3年度はこれまでに7名の作家による4つの作品展が開催されました。多岐に渡る作品を通して、多くの方々と「まざり、つながり」発酵しています。その土壌を創ったのは、旧機那サフラン酒本舗に大正期、忽然と現れた漆喰を何層も重ねて立体的な模様を表現する「饅絵」の存在が大きいでしょう。宮内出身でイラストレーターとして国際的に活躍される多摩美術大学教授の秋山孝先生も、幼少期に眺めた光景が身体に染み込み「美」の基準になったと言います。今回、令和4年2月17日より、漆喰饅絵作家として活躍されている黒崎剛さんの作品展「黒崎剛 - 饅絵の技 - 漆喰アートの世界」を開催いたします。黒崎さんは、左官業を引退後、長年培った左官の技法を使った創作活動を行い、数々の作品を制作、受賞歴も多数あります。宮内駅に展示されている「サフラン酒饅絵の蔵」を始め撰田屋を描いた作品も多くあります。左官職人が挑んだ和のアート、是非ご期待ください。

Vol. 05
2022.02

かわら版

近者悦、遠者来

ミライ発酵本舗



作品展
In 2021

ARTIST

池山崇宏

オリガミデザイン代表
長岡造形大学大学院研究科修了。
小国町に伝わる小国和紙の商品開発を行い、大学修了後も事業として継続中。

Exhibition

春、ひらく
オリガミデザイン作品展



2021年4月7日~4月19日
作品展開催
2021年4月18日
小さい灯りを造りながら作家さんお話しが聴けるギャラリートーク+クラフトワークショップ開催

会場：撰田屋6番街
発酵ミュージアム・米蔵

ARTIST

不破妙子

漆職人
長岡造形大学造形研究科修了。
石川県輪島での修行を経て、学び舎「長岡造形大学」のある長岡市に戻り、工房を構える。

Exhibition

金継ぎ ワークショップ



2021年8月21・28日
ワークショップ開催
「簡易金継ぎ」の流れをおよそ3時間で体験できるワークショップ。金継ぎとは、壊れた陶器を漆をつかって修復する技法です。自宅に壊れていても愛着ある器やワークショップ内で用意する古い陶器を使っての体験。モノがあふれ壊れてしまっても代わりの品はいくらでもある時代ではありますが、思い出のモノやお気に入りのモノにもう一度命をよどすことの大切さを作家さんは発信しています。

会場：撰田屋6番街発酵ミュージアム・米蔵

私は何も
発見しない。
再発見
するだけだ。
Auguste Rodin

ARTIST

石川恭平

長岡造形大学美術・工芸学科彫金工房教務補助職員 長岡造形大学美術・工芸学科卒業
金属と皮革を主材とし「流行に左右されず長く使えるもの」をコンセプトにTRADとして制作活動中。

2021年10月23日
~11月21日
作品展開催

小川沙織

長岡造形大学美術・工芸学科ガラス工房教務補助職員 長岡造形大学美術・工芸学科卒業
新潟でみてきた風景、動物や植物をガラスがもつ儚さや魅力的な色彩で表現している。



平戸亜海 長岡造形大学美術・工芸学科彫金工房教務補助職員
東京藝術大学大学院美術研究修士課程修了
金属工芸作家として活動中。金属の硬さを感じさせない柔らかな表現を目指す。

城山みなみ 長岡造形大学美術・工芸学科彫金工房教務補助職員
ミュンヘン美術院研究生
東京藝術大学大学院美術研究修士課程修了
あそびに関するものごとを制作に取り入れる。

Exhibition 夏のあと、冬のまえ
長岡造形大学職員4人展

ARTIST

近藤綾

ガラス作家
長岡造形大学ものデザイン学科卒業。
県内外において、個展やワークショップ、イベントに参加。
現在、拠点を新潟におき作品制作を行う。

Exhibition

ガラスの酒器展



2021年6月13日~6月27日
作品展開催
醸造のまち撰田屋にちなみガラスの酒器を展示販売。
2021年6月19・26日
枠に好きな色のガラスの欠片を入れ加熱し、スタンドグラスのプローチを作成。所要時間30分程度で気軽に可愛いアクセサリを作成。
パート・ド・ヴェール技法で作された優しいガラスの風合いが魅力。
ほっとするような日々の暮らしを彩る先品の数々です。

会場：撰田屋6番街発酵ミュージアム・米蔵

発酵暮らし

若いアーティストの方々が作品を
通して教えてくれたのが、古くて
も、壊れていても、何十年も忘れ
され人目につかないものでも、磨
けば光り、あらたな命を宿し、わ
たしたちに美しい感動をもたらせ
てくれるのだという感動をもたらせ
Reborn、大切な価値の再発見です。